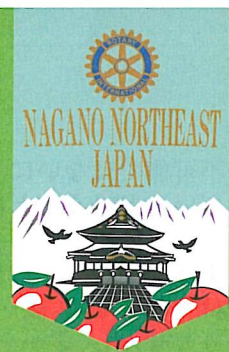




THE ROTARY CLUB OF NAGANO NORTH EAST

長野北東ロータリークラブ

例会 毎週月曜日 12:30~13:30 ホテル国際21



人類に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity

第1132回例会 平成28年 8月22日 No.1020

会長：青木 茂人・幹事：金子 肇

《点 鐘》 青木会長

《斉 唱》
「それでこそロータリー」

《友愛の握手》

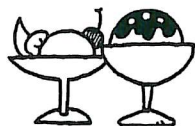
《ゲスト・ビジター紹介》 土井SAA
国際ロータリー第2600地区 原 拓男ガバナー
佐久RC 田中省三君
国際ロータリー第2600地区
北信第2グループ 脇田綱雄ガバナー補佐
特別奨学生 ムハマド イリヤス ビン イスマイル君

《出席報告》 滝沢(桂)親睦活動委員

会 員 総 数	55名	出 席 ベ ース	48名
本日の出席者	39名	欠 席 者	9名
出 席 率	81.25%	前々回訂正出席率	80.85%

《ニコニコボックス報告》 藤谷親睦活動委員
夫人誕生祝…丸山 継雄君

矢澤 敏雄君、市川 晴樹君、藤谷 延子君
 松本 研一君、丸山 継雄君、滝沢 桂子君
 中沢 清光君、南沢 憲三君、塚田 浩二君
 内藤 由幸君、北村 通將君、土井 悦代君
 宮本 哲也君、柗津 吉通君、宮下 広男君
 竹前 紀樹君、藤沢 宏市君、水澤 陵介君
 高池 忠克君、金子 和夫君、山崎 崇男君
 小宮 慶洋君
 …原 拓男ガバナー、脇田ガバナー補佐、本日はよろしくお願ひ申し上げます。



《会長挨拶》 青木会長

皆さん、こんにちは。
 本日は、ガバナー公式訪問です。
 原ガバナー、ようこそおいで頂きました。心より、歓迎申し上げます。後ほどのプログラムにおいてお話を頂きますが、よろしくご指導の程、お願い申し上げます。
 また、脇田ガバナー補佐には、先々週に引き続き再度ご訪問いただき、ご足労をお掛けいたします。よろしくお願ひいたします。
 本日は、原ガバナーからお話を頂きますので、1点、新入会員さんの動向をご報告し、私の挨拶いたします。



8月1日に皆さんにご報告しましたが、入会希望のNPO法人 日本の工芸と文化の理事であります三邨豊久(ミムラ トヨヒサ)さんですが、皆さんからの疑義がないと認めましたので、入会の運びとなりました。会費計算の関係上、9月からの入会となります。すでに先般、金子幹事と塚田親睦活動委員長の同席のもとで、三邨さんへのレクチャーは終えております。ご本人は、9月の第1週から出席できるということですので、皆さん、よろしくご厚誼を頂きますようお願いいたします。ご紹介いただきました、藤谷さん、小宮さん、ありがとうございました。

会員増強の内藤委員長のお話では、一度都合により退会された小野公人さんが、再度入会されるとお聞きしました。それと、何人かの会員さんがいろいろな角度から、もうお一方の勧誘活動を展開されているともお聞きしております。凄いなー、と思います。感謝、感謝、であります。

人生の課題は、原則として、本人が解決しなければなりません。その意味で、現代のように課題が錯綜している時には、課題の分離ということが重要になってきます。誰が選択の結末を最終的に引き受けるのか、あるいは、誰が最終的に責任を引き受けなければならないか、ということです。

しかしながら、人間の能力には限りがありますし、

解決が不可能ではないにしても、多くの困難が待ち受けているということは、往々にしてあることです。

そのような場合は、その課題を共同の課題にしなければなりません。誰かに援助してもらわなければなりませんし、誰かを援助しなければなりません。

共同の課題にするためには、「共同の課題にしたい」という依頼と、「よし！共同の課題にしよう」という了承の2つが必要となります。

ロータリークラブの会員増強は、いたって共同の課題だと考えています。本日あらためて、会員増強を共同の課題にしたいとご依頼申し上げますので、皆さん、是非ともご了承を頂きたいと思っております。

本年度は、北信第2グループでは14名の会員増強を予定しておられるようですが、長野北東は内藤委員長から3名を増強するとお約束いたしております。年度当初早々に、2名の方の入会が果たせていますので、何とかお約束が守れそうな気がいたしております。

内藤委員長をはじめ、会員増強に意を配って頂いている皆さんに、心から感謝を申し上げます。

《奨学金授与》 青木会長

特別奨学生 ムハマド イリヤス ビン イスマイル 君



《幹事報告》 金子幹事

1. 先般、同好会活動参加申込書を配布いたしました。変更ご希望の方で、まだ提出されていない方は、本日中午に事務局まで提出してください。
2. 地区大会の参加申込み期限が、本日となっております。大勢のご参加をお願いいたします。
3. 例会変更のお知らせ
上田 RC…8月29日(月)納涼夜間例会の為
時間の変更
* 定刻受付をいたします。
4. 到着郵便物のお知らせ
 - 1) 日本ユネスコ協会連盟
「2015年度活動レポート」
 - 2) エコシンNo.163
 - 3) 音協ニュースNo.457* 事務局に保管してありますのでご覧になりたい方はお申し出下さい。



《本日のプログラム》

ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2600地区

原 拓男 ガバナー



＜ガバナー公式訪問＞

1. RIテーマ

「人類に奉仕するロータリー」
(Rotary Serving Humanity)

2. 2600地区方針及び行動指針

地区標語

「Basic&New !

(原点に返り新たな改革を)」

行動指針

「長所を認め合い絆を深めよう」

3. 重点事業(地区プログラム P9)

I. 会員増強(目標)各グループ純増10名、
合計90名

この数年2,000名の会員確保に苦慮している状況は2600地区の最大の問題点
会員増強をする為には例えば

- ①ロータリーが果たした役割を多くの人に
知って貰うこと。
- ②ロータリーとは何か、何に取り組んでいる
かをクラブを通じて地域社会に情報を広
げる。
- ③クラブの全会員がロータリーへの入会が
ロータリーの奉仕を通じて地域の為、人類
の為により良い世界を築く機会である事
を認識し増強を計る。

II. CLPの運用によるクラブの強化

III. 職業奉仕の見える化

会員が小、中、高の学校で自分の職業に関
する話をする(ロータリーを知って貰う⇒将
来の会員増強)

4. 継続事業

I. ロータリー財団への寄付(ポリオの撲滅を
含む)

今年度はロータリー財団設立100周年の記念すべき年です。財団100年の歴史は、1917年6月18日アメリカジョージア州アトランタで開催された第8回年次大会でのRI会長アーチ・クラフの「世界で良い事をする為に基金を作るのが適切だと思われる」という言葉から始まりました。

その後基金に初の寄付26ドル50セントが寄せられ財団がスタートし、100年間に世界中

の何千という地域社会に30億ドルを提供してきました。100周年はロータリアンや世界中の人々にとってR財団の人的活動の大きな歴史を振り返る絶好の機会です。

その歴史の重要な事の一つが2人の日本人ロータリアン山田ツネさんと峰英二さんが提唱したポリオの撲滅です。ポリオは現在アフガニスタンとパキスタンで16例が報告されただけで、本当にあと少しで撲滅できます。

因みに、来年6月10日～14日財団発祥の地アトランタで国際大会が行われますので、当地区からも多く皆様に出席をお願いしたいと思います。ロータリーの友7月号の横読みP44～45に「R財団100周年を祝う」という記事が掲載されていますので一読下さい。

さて、昨年度は財団への寄付は一人150ドル、ポリオ撲滅に500円、平和センターに500円という金額をお願いしていましたが、100年に一度というこの周年を記念して一人150ドルの他ポリオに40ドル、平和センターに10ドル合計200ドルの寄付をお願いします。(実質は4千円ほどの上乗せ)

2016-2017年度ロータリーの目標(地区プログラムP9参照)

お願いばかりで大変申し上げにくく、又心苦しいのですが、申し上げない訳にはいきませんので申し上げます。

1920年10月20日東京RCが設立総会を行い米山梅吉氏が初代会長に就任し、ここから日本のRCの歴史が始まり2020年、東京オリンピックの年に100周年となります。そのため昨年「日本のロータリー100周年委員会」が立ち上げられました。そして今年度が始まる7月1日に東京で第1回ガバナー会議が開催され、議題の一つにこの100周年委員会の予算が上程されました。予算総額は1,760万円で内訳は人件費650万円、事務所経費240万円、備品費100万円、三つの委員会費550万円、予備費220万円です。寝耳に水の様なこの件に対し各クラブで既に予算も立てられている事もあり我々ガバナーから多くの反対意見が出されましたが最終的には100周年という周年事業をやるに決まるとはいかないだろうという結論に至りました。

その結果、今年度は約88,000人の会員に一人200円の拠出をお願いするという事になりました。予算書では納入期限は10月末日となっていました。降って湧いた様なこの件を各クラブにお願いし理解を戴くにはガバナーが公式訪問で直接お願いするしかないという事で納期は来年4月から5月に延期して貰いました。

今更大変心苦しいお願いで恐縮ですが、考えてみれば日本のロータリー100周年を祝う事は我々ロータリアンにとって大きな節目のお祭り

のような事であり、公共イメージの向上には絶好の機会と捉えるべきだと思います。会員の皆様には異論もありませんかと思いますがご協力を是非宜しくお願い致します。

次に、3年に1度開催される規定審議会がシカゴで開催され当地区からは堀川浩PGが代議員として出席されましたがご承知の通り今回は大きな変化がありました。一部の会員の皆様はロータリーに失望したやの発言もあるとお伺いしましたがこの変化を否定的に捉えるのではなくむしろ自分たちのクラブをより良くする為の自主権が多くなったと肯定的に捉えて欲しいと思っています。

例えば例会に柔軟性を持たせる件についてはクラブフォーラム等で全員で議論し、その決定が自分たちのクラブにとってより良いと思われるならばその方向性を決めるのは各クラブ自身です。

但し今期は既に始まっておりますので、この一年しっかり議論して欲しいと思います。地区研修・協議会でも申し上げた個人的な意見ですが、私は「四つのテスト」の内三番目の「好意と友情を深めるか」を一番大事にしています。毎週例会で友と逢い語り知らない知識を得るのはとても楽しみです。

最後に東京RCの今年度のテーマは「Enjoy Rotary」です。

楽しくなければロータリーではありません。皆さんロータリーを楽しみましょう。ご清聴ありがとうございました。



《点 鐘》 青木会長



《8月29日のメニュー》 — 洋コース —

- ・ローストビーフのシーザーサラダ
- ・イサキのポワレ 粒マスタードソース添え
- ・メロンのアイスクリーム
- ・パン
- ・コーヒー



【8月29日のプログラム】 「会員卓話」 土井 悦代君